

大地震に備えて

かけがえのない命を守るために

東日本大震災の発生から1年半がたとうとしています。多くの命を一瞬にして奪い去る大地震は、私たちの住む札幌でも起こる可能性があります。今回の特集では、こうした大地震が発生したときに身を守るための心構えや備えと、地域に広がっている防災活動を紹介。一人でも多くの命を守るために、私たちができることは何なのか、あらためて考えます。



詳細 危機管理対策課 ☎211-3062

現在、市が進めている災害対策

地域防災計画の見直し

市の防災の総合計画である「地域防災計画」の修正を進めており、本年度中に原子力災害対策編を盛り込む予定です。また、北海道では地震時における日本海側の津波の発生予測を行うことを検討しており、市も必要に応じて対策を行うことにしています。

避難場所の環境整備計画の策定

避難場所での寒さや物資不足などの問題をできるだけ回避するため、「避難場所基本計画」を本年度中に策定します。

その他、小中学校の耐震化なども進めています

市が行った最新の調査では、札幌市やその周辺に存在が想定されている断層で地震が起こると、市内で最大震度7の揺れが発生すると見込まれています。これは、阪神・淡路大震災や、東日本大震災とほぼ同じ大きさの揺れです。

市はこうした予測を踏まえて災害対策を進めていますが、大規模な災害が発生した時には、行政だけでなく、全ての事態に対応することはできません。

今、市民一人一人に求められていることは、「札幌が大地震に襲われる」という状況を想定し、被害を最小限に食い止めるための準備をしておくことです。